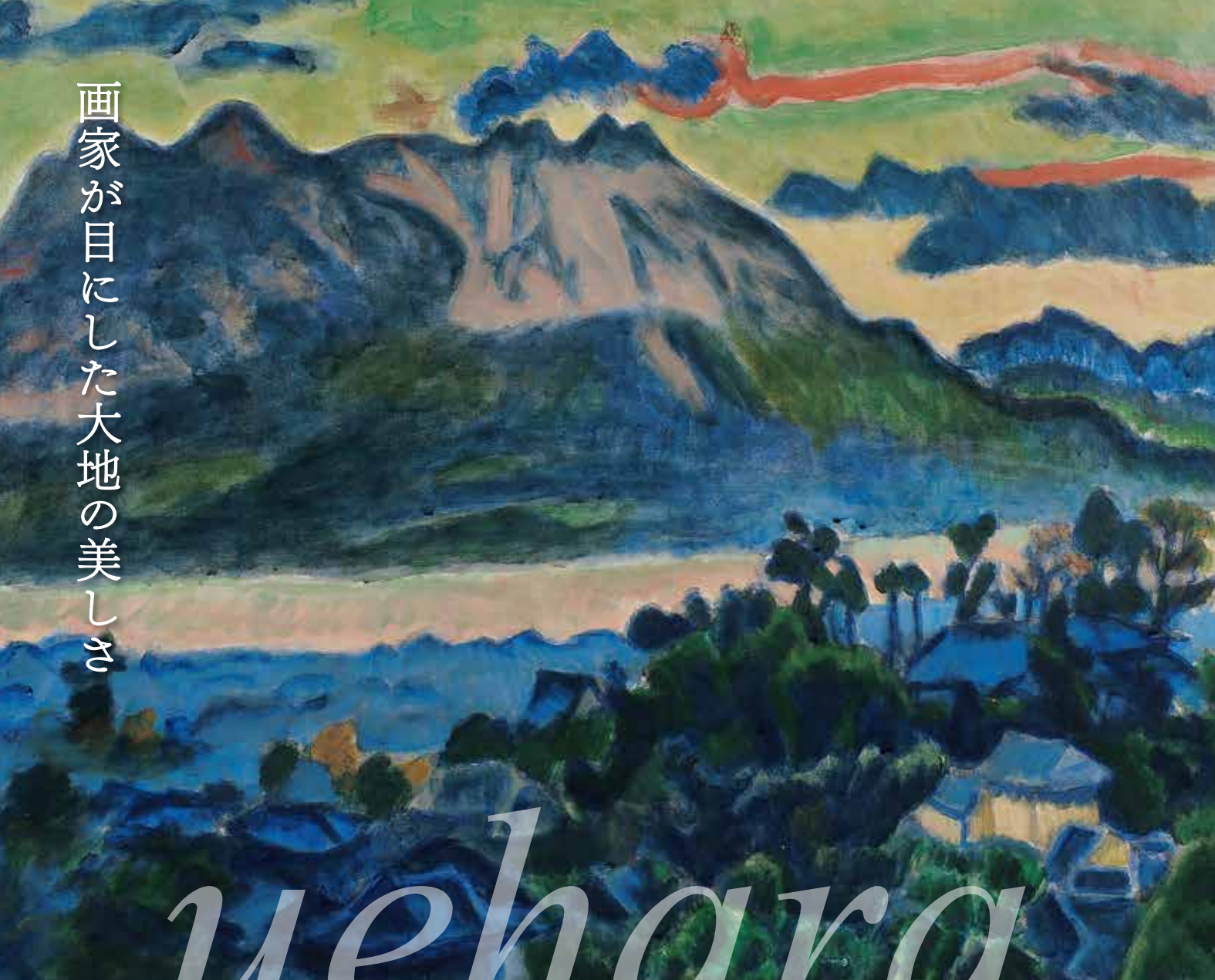


画家が目にした大地の美しさ



梅原龍三郎《朝暉》  
1937(昭和12)年

# uehara collection

## 上原コレクション名品選 3

美しき大地 — 新収蔵・梅原龍三郎《朝暉》を中心に —

2020年 4月25日(土) — 9月27日(日)

会期中無休

開館時間 | 午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料

\* 仏教館・近代館の共通券です

\* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい

 上原美術館  
Uehara Museum of Art

平安の守護神 降臨



二天像 (平安時代、11世紀後半~12世紀)

# uehara collection

## 上原コレクション名品選 3

~ 新収蔵・二天像と上原美術館のみほとけ ~

2020年 4月25日(土) — 9月27日(日)

会期中無休

開館時間 | 午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料

\* 仏教館・近代館の共通券です

\* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい

 上原美術館  
Uehara Museum of Art



# 上原コレクション名品選 3

仏教館

近代館

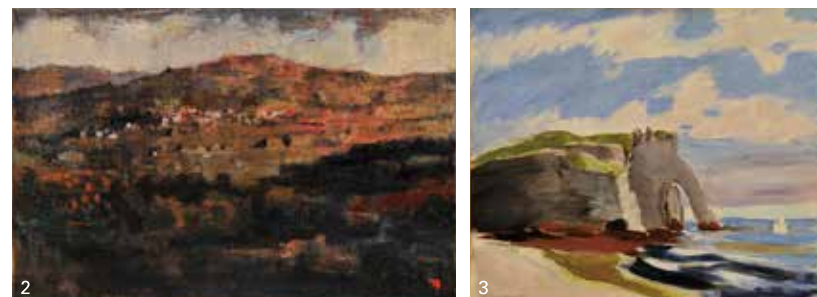
～新収蔵・二天像と上原美術館のみほとけ～

美しき大地 — 新収蔵・梅原龍三郎《朝暉》を中心に —

東西南北を守護する四天王。そのなかから二尊を選び、二体一對の像としたものが二天像です。このたび上原美術館は、迫力に満ちた等身大の二天像を収蔵しました。二天像は寺の入口にあたる山門や、本尊の左右に控え、仏と仏教徒、寺院を守る頼もしい守護神。太くがっしりとした体に甲冑を着け、かつては高く上げた片手に魔を降す武器を握っていたはず。腰を捻り、袖をなびかせるさまで動きを表現しますが、斜め下をにらみ据える顔は、目鼻が顔の中央に寄り、吊り上がる目とあわせて、静かに内に籠められた怒りを解き放とうとする瞬間を表現しています。頭上の髻の形や、浅い彫り、上半身に比して下半身が太い造形などから、平安時代後期、11世紀末から12世紀の像と考えられます。900年もの時を経た魅力的な仏像が新たにまた、上原美術館のコレクションに加わりました。10世紀の十一面観音像、鎌倉時代の阿弥陀如来像など、当館所蔵の仏像の名品とあわせ、ご覧ください。



1 阿弥陀如来像(鎌倉時代、13世紀)  
2 十一面観音像(平安時代、10世紀、重要美術品)  
他 二天像(平安時代、11世紀後半～12世紀)



まだ夜が残る群青色の街並みの向こうに、朝日を受けて浮かび上がる桜島のすがた。そこには人々の生活する時間の感覚を超越した大きな大地の息吹が感じられます。

梅原龍三郎は大正10(1921)年、師ルノワールの弔問のため南仏を訪れ、その後、ナポリを訪ねました。噴煙を上げるヴェスヴィオ山の近くで偶然出会った日本人は梅原に「此美感に桜島の景色が似てゐる」といい、その言葉が心に残ったといいます。そして、昭和9(1934)年、梅原は初めて鹿児島を訪れました。「東に面する桜島は朝青く夕は燃える様に赤い、噴煙は時に濃く時に淡い、朝など濃藍の空と山の間に白く見えることもある。空の色海の色緑の色の光り強く美しき事我國內地に此処に匹敵する処を自分は未だに知らない」。梅原は桜島を望む壮大な眺めをそう謳っています。梅原はそれから6年の間、毎年鹿児島を訪れては桜島を描きました。朝日が活火山を染め上げてゆく《朝暉》は、地球が巡る大自然の営みさえ感じさせるようです。

本展では上原コレクションより、画家たちが描き出す美しき大地の表現をご紹介します。信州・小諸の山並みを独特の明暗で捉えた須田国太郎《農村展望(小諸風景)》や白亜の断崖を柔らかなトーンで描き出したアンリ・マティス《エトルタ断崖》など、地球が織り成す大地の美しさをお楽しみください。

1 梅原龍三郎《朝暉》1937(昭和12)年  
2 須田国太郎《農村展望(小諸風景)》1934(昭和9)年  
3 アンリ・マティス《エトルタ断崖》1920年  
4 ポール・セザンヌ《水浴する人々》1897年  
5 安井曾太郎《十和田湖》1932(昭和7)年

●お車で 東名高速道路 沼津ICより  
下田方面へ 1時間40分  
●鉄道・バスで 東京駅より特急踊り子号  
2時間40分 伊豆急下田駅下車  
同駅より堂ヶ島方面行バス 20分  
相玉下車 徒歩15分



東洋と西洋の美の出会い  
**上原美術館**  
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341  
Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp

## 仏教館・近代館 関連イベント

### 学芸員による作品解説

日時 会期中の第3土曜日  
11:00～(仏教館のみ) / 14:00～(近代館のみ)  
※所要約30分

会場 上原美術館展示室

参加方法 当日、展示室にお集まりください  
※要入館券・予約不要  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になる場合がございます

コーナー  
展示



### 新収蔵初公開 西洋銅版画の頂点

アルブレヒト・デューラー 《書斎の聖ヒエロニムス》  
1514年 エングレーヴィング、紙

高い描写力とその名を知られたルネサンス期のドイツの画家アルブレヒト・デューラー。当館では2019年度にデューラーの銅版画《書斎の聖ヒエロニムス》を新たに収蔵しました。この版画はデューラーの三大銅版画の一つとも言われ、エングレーヴィングによる卓越した細密描写が特徴です。同じくデューラーの版画《アダムとエヴァ》(1504年)と合わせて、デューラーの版画の魅力をお楽しみください。